



憲法は国民の人権と自由を守るためである

国を守るために憲法はあるのではない

(小笠原里夏弁護士 憲法寺子屋く9条の会主催の発言から)

掛川市は今年も自衛隊の求めに応じて高校3年生になる市民の住所・氏名・生年月日・性別、1045人分のデータを抽出して手渡ししました。一般質問でも取り上げ、この事実を市民に公表すること、提出が拒否できる制度をつくることを求めましたが何も改善しません。個人情報保護もない特別扱いです。もう何年も続くこの行為で若者情報は自衛隊に蓄積されています。今、戦争をしているウクライナでは16才から60才までの男子は国外退去を禁じられているのです。戦争が始まったら自分の命を差し出して国民は国を守ることを強要されるのです。

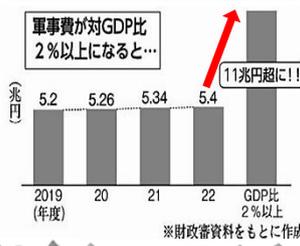
かつて軍国教育を疑問も持たずに行なった反省から、先生たちは戦後「教え子を再び戦場に送るな」とたちあがりしました。今はどうでしょう。戦前のごとく「がんばって国を守れ」という教育がまた復活しないか心配です。

自衛隊に戦争をさせてはいけません。戦争は人殺しです。だから憲法9条は堅持する必要があります。

軍事費が倍増すると

1 米国	7780億ドル
2 中国	2520億ドル
3 インド	729億ドル
4 ロシア	617億ドル
5 英国	592億ドル
6 サウジアラビア	575億ドル
7 ドイツ	528億ドル
8 フランス	527億ドル
9 日本	491億ドル
10 韓国	457億ドル

ストックホルム国際平和研究所の資料から作成



軍事費一兆円は国民一人あたり10万円の軍事費を使うということです。5人家族で50万円！このお金を教育や福祉に使えばもっとまともな暮らしやすい国に日本はなります。

もっと給食費助成予算額の増額を

	磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	御前崎市
物価高騰による給食費助成予算額	7400万円	3100万円	1500万円	2400万円	給食費無料
人口	16.8万人	8.8万人	11.6万人	4.8万人	3.1万人

6月定例会に提出された給食材料費の助成金額は近隣他市と比べると見劣りする助成金額です。給食の質の低下が本当に心配です。

近隣他市並の助成金額で学校給食の現状維持を



雨の中のインパチェンス

自民党のポスター 立ち止まって見入ってしまいました
「挑戦する保守」「自民党がやり抜く」
何に挑戦するんでしょう。
憲法の改悪？ 増税？
何をやり抜くんでしょう。
新自由主義の経済政策？
軍備増強？ 年金削減？
私はいやです。
審判は参議院選挙で！
(6/22 公示・7/10 投票)



掛川市・菊川市のごみ処理を考える

市民の会で市長に要望書提出

6/15市に要望書の提出をし、私も同席しました。

(1) ごみ処理新施設の建設にあたって

- ① 産業廃棄物の受入はしないこと
- ② 燃やすごみの減量化に柔軟な対応ができるよう、ごみの焼却炉の小型化・複数化などの検討を行うこと

- ③ ごみ処理に自治体が責任を持つ公設公営方式とすること

- ④ 全市民を対象とした対話集会などを開催し、広く市民の意見を汲み上げること。情報は広く開示すること。

(2) 今後のごみ処理施策について

- ① 一般廃棄物減量化のための具体的な施策を示すこと
- ② 家庭ごみの減量化を進めるため、市民との協力体制をつくること
- ③ 事業系ごみ削減のため、事業者・収集業者への対策を取る

